

セッション 6

会話術 パート1

社会の中で信仰によって生きる

ディスカッション・ガイド

会話術 パート1 会話に精通する

今週の読書課題

「会話術 パート1」は2部構成の論文の第1部です。この第1部では会話に精通するということを考えます。そのためには、会話を理解し、語るべきことを持つておくことが大切です。

教師のための覚え書き

この課の目的は2つあります。まず、人はどのように新しい概念を取り入れていくのか、そのプロセスを理解できるように、グループの人たちを助けてください。私たちが信仰を持つとき、往々にして同じようなプロセスをたどります。第二に、論文の最後にあるアセスメントマップを活用して、グループの人たちが深い会話へと導く技能を持つことができるように助けてください。

学びの構成

この課の学びには2時間半を予定してください。

10 分間

導入：アメイジング・グレイス

15 分間

講義：想像力を活用する

40 分間

実習：相手がすでに知っていると思っていることについて教える

40 分間

プロジェクトについてのディスカッション

導入：

アメイジング・グレイス

15 分間



出演：ヨアン・グリフィズ、ロモーラ・ガライ、ルーファス・シーウェル、アルバート・フィニー

配給：サミュエル・ゴールドウィン・フィルムズ／ロードサイド・アトラクションズ

上映時間：1 時間 51 分

部門：芸術／外国映画、ドラマ、政治／宗教

年齢制限：PG（奴隷制度などテーマ性の強い内容。言語的には穏やか）

映画のあらすじ：「アメイジング・グレイス」は、18 世紀のイギリスに改革を起こそうと奮闘するウィリアム・ウィルバーフォースとクラパム派の聖者たちの姿をドキュメンタリータッチで描いている。ウィルバーフォースとクラパム派の人々は、奴隷貿易の経済的支えがなければイギリスは生き残れないとする長年の考えに異議をとねえる男女様々なメンバーからなる連合グループを立ち上げることに成功する。ウィルバーフォースは奴隷貿易及び奴隷制度の廃止に命をかけて戦い、イギリス帝国でも最大の有力者たちに立ち向かった。

シーンの紹介：最初の奴隷貿易廃止法案が成立失敗に終わり、クラパム派のグループは、奴隷制度に関する議員たちの考え方を変えるには、アプローチの仕方を変えなければならないことに気付く。このシーンにおいて、ウィルバーフォースはグループの人たちに想像力を活用することから始めるべきであると説得している。彼は、奴隷船の臭いをかがせようとある団体を連れていく。

講義とディスカッション

想像力を活用する

15 分間

一般的に言って、人は、新しい方向へ一歩進もうとするとき、異なる現実を頭で想像しなければなりません。私たちは、人が想像力を働かせることで新しい視点から物事を捉えることが出来るように助けることができます。

真実を説明するときには、正面切って論理的な説明を試みるよりも、想像力を活用して説明する方が人々の警戒心を解きやすいものです。それは個人の場合もそうですし、また、社会における文化の見張り役的存在の人々の場合も同様です。

変化は想像することから始まります。想像することによって、人は新しいアイデアに対して心を開き、長年抱いてきた反対意見を防御する姿勢を弱めます。福音は変化を促す触媒です。私たちは人が想像力を活用することによって、福音の持つ影響力に対して心を開いてほしいと願います。そしてさらに、福音が人や文化を変える力となってほしいと願います。

あらゆる変化は想像することから始まります：個人的な変化、人間関係の変化、組織的な変化、文化の変化、社会の変化などすべてです。

変化は論理だけで説明できる問題ではない。

- ・今抱いている信念と、その根底にある考えはどのような影響を及ぼすでしょうか。それを理解するためには、異なる視点からものごとを捉える気持ちが必要です。
- ・根底にある信念について考えるということをしなないならば、私たちは互いに相容れない意見を違和感なく同時に抱くことが出来てしまいます。
- ・世の中の現実を正確に捉えて考えなければ、私たちは無関心のままです。
- ・論理的に考えるならば、私たちが何かを信じるのは、それが理にかなっているからでしょう。けれども、私たちはしばしばそれが自分の選択や自分の望む生き方に都合がいいからという理由で信じていることが多いのです。

改革を始めたクラバム派の人々の物語について考えてみましょう。クラバム派の人々が福音によって 18 世紀のイギリスの思想を変えて行こうとしたとき、彼らは、会話を通して回りの人たちの想像力を活用することが大切であると考えました。彼らが日常的に行っていたことは、朝食時や夕食後に集まって今後の活動にいついて話し合うことでした。グループで集まり、グループの活動計画に適切な「きっかけとなるもの」についてアイデアを出し合いました。「きっかけとなるもの」とは、例えば挑発的な問いかけや声明、絵などで、人々を意味のある会話へと導く材料となるものでした。こうした会話が、奴隷貿易や児童労働、動物愛護、賭博、飲酒、外国使節団、救いの信仰など、文化改革に関するあらゆる重要問題の議論へと発展していったのです。

会話のきっかけとなった一つの例としては、ジョサイア・ウェッジウッドが制作した奴隷解放メダリオンが挙げられます。

奴隷解放メダリオン

1787年から1795年に亡くなるまで、ジョサイア・ウェッジウッドは奴隷解放運動に積極的に参加しました。ウェッジウッド古文書史料に収められているウェッジウッドとトマス・クラークソンが交わした書簡を見ると、この件に関してウェッジウッドが抱いていた感情を詳しく知ることができます。



奴隷解放運動のためにジョサイアが貢献したことの中で最も重要なものが、いわゆる奴隷解放メダリオンでした。これは奴隷貿易の恐ろしさについて人々の関心を引く一つの材料となりました。1787年に奴隷解放協会の象徴をかたどった碧玉のメダリオンがウィリアム・ハックウッドによって制作されました。このメダリオンは帽子の留め針や、ブローチその他のファッションアクセサリとして作られており、奴隷の苦しみを知らしめることを目的としていました。

1788年ウェッジウッドはこのカメオを大量にフィラデルフィアのベンジャミン・フランクリンに送りました。彼はジョサイアに次のように返事を書き送っています。「私はあなたからいただいた貴重なカメオの贈り物を友人たちに配っています。それに描かれた嘆願する人物について彼らが考え、それによって影響を受けた様子が彼らの顔に現れていました。・・・このカメオは、虐げられた人々の名誉を回復させる上で、最も良く書かれた文書に匹敵するほどの効果があると、私は確信しています。」

<http://www.wedgewoodmuseum.org.uk/welcome.htm>

ディスカッションのための質問：ベンジャミン・フランクリンは、奴隷制度の廃止という目的のためにメダリオンが「最も良く書かれた文書に匹敵する効果がある」と考えました。視覚的な芸術は、想像力を掻き立てる上でどのような利点があるのでしょうか。書かれた文章の方が効果的であるのはどのような点でしょうか、また、どのような時でしょうか。

私たちはどのように想像力を活用できるでしょうか。

- 〉 物語を通して一話し言葉、活字、ビデオ
- 〉 ディベートによって一肯定／否定のディスカッション
- 〉 新しい、今までと違ったタイプの人々に紹介することによって
- 〉 新しい経験を通して
- 〉 質問をすることによって

1. これこれとはどんな感じだと思いますか。
2. それはどういうことを意味すると思いますか。
3. それはあなたにどのような感情を抱かせますか。
4. それは彼／彼女にどのような感情を抱かせるとあなたは思いますか。

5. 「もしこうだとしたらどうですか」といった、相手がずっと抱き続けてきた考えに疑問を投げかける質問によって

ディスカッション：これらの内、あなたが十分に活用していない方法はどれですか。あなたはどの方法を会話の中に取り入れることができますか。

実習

相手がすでに知っていると思っていることについて教える

30 分間

目的：私たちはコミュニケーションを取りたいと思う相手の想像力を活用するとき、その人との会話をかなり深いレベルに導くことができます。この実習の目的はその点を明らかにすることです。

指示事項：この実習は混合グループで行なうと最も効果的です。すなわち、異文化の人たちのグループ、男女混合のグループなどです。あなたのグループの人たちを 2 つのグループ、教える側と学習する側に分けてください。教える人は学習者がすでに知っていることについて教えてください。教える人は学習者が抱えている古い概念に対して新しい視点を投げかけるよう試みてください。

発表を聞いている人たちの想像力を活用させるために、スキットをしたり、物語を語ったり、絵を描いたり、ロールプレイをしたりしてください。

この実習に成功すれば、驚くべき経験ができます。この実習はまた、異なったグループ同士が互いに感情的に理解できるようになるための優れた方法となります。

各グループの発表が終わったら、評価のための時間を取ってください。

プロジェクトについてのディスカッション：

会話のきっかけとなるものを見出し、用いる

40 分間

課題の「会話のきっかけとなるものを見出し、用いる」について復習してください。それぞれの経験を分かち合って、町で見つけた会話のきっかけとなるもののリストを作ってみましょう。課題に関して問題があれば、話してください。毎日の出来事を通して、深い会話ができるように習慣づけましょう。